

Ⅳ． 国や自治体の取り組み

1. 国や自治体の取り組み

(1) 平成 26 年春における花粉症に関する政府の取組

○ 取組の趣旨

花粉症は、花粉症を有する者の数が約 30% であるという報告もあり、国民的な広がりを見せており、政府として関係省庁が一丸となって積極的に取り組む必要のある疾病である。

近年、花粉症に対する国民の関心は高まっており、引き続きこれまで以上に的確かつ効果的に施策を実施する必要がある。このため、次に記載する事項について、政府として、総合的かつ一体的な花粉症対策を実施する。

○ 花粉症対策の具体的施策

1) 花粉及び花粉症の実態把握

①花粉飛散予測及び観測（環境省）

- ・ スギ・ヒノキの花粉の総飛散量、飛散開始時期、及びピーク時期の予測について、花粉飛散開始前に情報を提供する。また、終息時期についても予測を行う。
- ・ スギ・ヒノキの花粉の飛散状況を花粉観測システム（愛称：はなこさん）によりリアルタイムで情報を提供する。

②気象の予測等（気象庁）

気象庁が作成・発表する以下の気象情報は、環境省が行う花粉の飛散予測（12 月下旬以降）等の基礎資料としても活用されている。

- ・ 地上気象観測網を用いて観測した気象データに基づく観測情報。
- ・ 数値予報技術を活用した気象の予測情報。

③スギ花粉等の飛散量推定等の実施（農林水産省）

- ・ スギ林の花粉生産量を予測するため、雄花の着花状況調査を実施し、関係機関へデータを提供している。
- ・ ヒノキの花粉生産量の予測に必要なヒノキ雄花の観測技術の開発を進めている。

2) 花粉症の原因究明

①病態解明（文部科学省・厚生労働省）

- ・ 理化学研究所統合生命医科学研究センターにおいては、免疫システムの基礎的・総合的な研究を実施し、花粉症等のアレルギー疾患の原因究明と治療法の開発を目指している。
- ・ 平成4年度からアレルギー疾患について臨床研究事業を推進している。(厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業)))

②研究拠点の整備(文部科学省・厚生労働省)

- ・ 理化学研究所において、平成13年7月に免疫・アレルギー科学総合研究センターが発足。平成16年4月に横浜研究所内にセンター棟が開所し、研究者が集結して本格的に活動を開始した。平成25年4月に統合生命医科学研究センターに再編された。
- ・ 平成12年10月に国立相模原病院(現独立行政法人国立病院機構相模原病院)に臨床研究センターを開設し、アレルギー疾患に関する臨床研究を進めている。

3) 花粉症の対応策

①予防・治療法の開発・普及(文部科学省・農林水産省・厚生労働省)

- ・ 理化学研究所統合生命医科学研究センターは有効性、安全性が高い花粉症ワクチンの開発に向けた研究を進めている。
- ・ 同センターと国立病院機構相模原病院は、基礎研究成果の臨床への応用を推進するため、研究協力に関する協定を取り交わしており、アレルギーワクチン開発等の共同研究を進めている。
- ・ 独立行政法人農業生物資源研究所は、スギ花粉症を根治することを目的とした医薬品としての米の有効性・安全性の研究を進めている。
- ・ 平成4年度からアレルギー疾患について臨床研究事業を推進している。(厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業(免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業)))

②花粉症対策品種の開発・普及(農林水産省)

- ・ 無花粉スギの開発を進めるとともに、少花粉スギ等の苗木の供給量を増大させるための生産体制の整備を進めている。

③花粉の少ない森林への転換等の促進(農林水産省)

- ・ 花粉症対策苗木の利用拡大に向けた森林所有者等に対する普及指導等を実施する。
- ・ 首都圏近郊等を中心に、花粉の多いスギ林を少花粉スギ林、広葉樹林等への転換を推進している。

④花粉症に対する適切な医療の確保(厚生労働省)

- ・ 診療ガイドライン等の周知徹底を図る。

- ・ 治療上疑義が生じる専門事項については医療機関向け専門相談窓口を開設する等して、適切な医療の確保に努めている。(http://www.allergy.go.jp/)
- ⑤花粉及び花粉症に関する情報の提供（厚生労働省・農林水産省・環境省）
 - ・ 花粉症に関する関係省庁担当者連絡会議における情報交換を踏まえ、厚生労働省・農林水産省・環境省の花粉症関係サイトを相互にリンクし、引き続き関係省庁が連携して花粉症に関する情報提供の充実に努める。
 - ・ 相談窓口の設置について、都道府県等に協力をお願いするとともに、各都道府県等の保健師等職員を対象に、花粉症対策に係る必要な知識を習得させ、地域における相談体制の確立のため、相談員養成研修会を実施している。
 - ・ 花粉症に関する最新の科学的知見や関連情報を紹介した花粉症環境保健マニュアルを提供し、保健師などの保健活動に関わる方の活動を支援する。
 - ・ アレルギー相談センター（電話 03-3222-3508）において、電話等により日常生活における注意や専門医療機関の所在等、花粉症に関する相談に応じる。

(2) 自治体等の取組

自治体等における花粉症に対する先進的な取組を紹介します。

< 東京都の取組 >

東京都は昭和60年から花粉の定点観測を行っており、昭和62年には我が国で初めてスギ・ヒノキ科花粉の飛散予測を開始しました。また、平成4年にはテレホンサービスを開始し（TEL：03-3233-1187）、平成10年からホームページでも飛散予報や花粉症の保健情報を提供しています。

(http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj_kankyo/)

毎年、スギ花粉飛散開始前には、花粉症の基本的知識や対応策を解説した小冊子「花粉症一口メモ」を作成・配布しています。

東京都の調査で、都内のスギ花粉がしだいに増加するとともに、スギ花粉症患者が、平成8年度には約5人に1人であったものが、平成18年度には約3.5人に1人に増えたことや、子供の患者が増えていることが判明しています。

スギ花粉症患者が増加している状況を踏まえ、平成18年度から総合的花粉症対策として以下の取組を行っています。

1 花粉発生源対策

都内のスギ林から発生するスギ花粉の量を削減することを目標として、「花粉の少ない森づくり運動」を推進しています。取組として、花粉の少ないスギへの植替えや、住宅や公共施設等への多摩産材活用などを行っています。

2 花粉症予防・治療対策

患者の負担を減らすため、根治が期待でき、苦痛の少ない治療法である、舌下免疫療法（減感作療法）の臨床研究を行うなどしてその実用化を推進するとともに、シンポジウムを開催するなどし、花粉症治療の普及に努めています。

また、花粉を避け、症状を軽くするのに役立つよう、「とうきょう花粉ネット」というシステムを平成21年シーズンから本格運用し、スギとヒノキについては、花粉自動測定機による測定データや気象条件等を基に1時間単位の花粉飛散状況・予報を地図情報により提供しています。これらの予報はホームページのほかテレホンサービスやメール配信により利用者へ提供しています。

また、春のスギ・ヒノキのみならず、夏から秋にはイネ科やブタクサなどの花粉についても自動測定機による測定を行い、年間を通じた花粉飛散情報の提供を行っています。

(このページについての問い合わせ先：

東京都健康安全研究センター 企画調整部 健康危機管理情報課
http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj_kankyo/)

2. 保健指導について

花粉症の保健指導にあたって、まず大切なことは、病気である花粉症の症状だけを見るのではなく、その人の生活環境や仕事などの社会的側面や日常生活の面からも、どのように対処していったらいいかを患者さんとともに考えていくことです。

花粉症は、生死にかかわる病気ではありません。それゆえ、周囲の人々が症状の大変さを理解することが難しいことがよくあります。しかし、花粉症が発現する時期の患者さん個々の生活の障害は多大であり、社会的損失も大きいです。そのため、花粉症に対応していくための保健指導の役割は大きいといえます。

情報化社会の今日、一般の人々の花粉症に対する知識は豊富になってきていますが、場合によっては有害に作用することもあり、さまざまな知識を取捨選択し、正しいものを理解してもらうことが重要になってきています。そこで、まず正しい知識が得られるように、花粉に関する情報、花粉症のメカニズム、適切な医療機関受診など、患者さんの生活全般をふまえた指導が望まれます。現状では、一般市販薬に頼る方も多いのですが、患者さんの生活様式を把握し、それにあった、適切な予防や治療を認識してもらうことが必要です。また、正しい知識、診断、治療によって症状が軽減できること、生活への支障を少なくすることができることなどを理解してもらうことも必要です。

(1) 保健指導の基本的な進め方

○相談の基本姿勢

相談者は、主体的に相談に来たとしても、自分の相談内容が相手にどう受け止められるか気にしていることがあります。相談に来たことをねぎらい、相談者の緊張を和らげることが必要です。

そのためには、以下のことが大事です。

- ・話しやすい雰囲気をもつ
- ・言葉は、相談者が理解できるよう、平易でわかりやすいものにする

保健指導の重要なポイントは、相談者自身が自ら解決の糸口を見出せるようにしていくことです。相談者の生活環境や日常生活の問題点を指摘するのではなく、相談者自身がそれに気づき、自らの生活の中で解決方法を見つけ出し、いけるように支援していきましょう。

○相談の進め方

<相談者との関係づくり>

ー最も困っている症状から聞きましょうー

保健指導を円滑に進めていくためには、まず相談者との関係づくりが重要です。相談者の聞き役となり、ありのままの言葉を受け入れましょう。批判的態度を避け、相談者が心地よいと感じられる対応を心がけましょう。話の内容としては、現在一番困っている症状から聞いていきます。そして、困っていることへの解決策をすぐに提示するのではなく、相談者の立場で、困っている症状と一緒に考え、信頼関係を築いていくことに努めましょう。

<問題の焦点化>

ー相談者の生活様式、日常生活状況について聞きましょうー

関係づくりを基盤として、相談者自身が意識していない問題に気づくようにしていくことが必要です。そのためには、相談者の生活を具体的に把握する視点を持ち、日常生活の内容を具体的に聞いていきましょう。その中で、相談者自身が解決の糸口を見出せるようになることが重要です。

<支援方針を決める>

ー相談者の状況にあわせた支援方針を決め、知識や情報を提供しましょうー

相談者自身による解決に向けて、相談者の状況にあわせた支援方針を決め、それに沿った専門的知識の提供や日常生活行動への助言、専門機関への紹介をおこないます。ここでのポイントは、一方的な知識や情報の提供にならないよう、相談者が自らの問題を認識し、行動できるようになることです。

<終結・フォローアップ>

ーフォローアップを通して信頼関係を深めていきましょうー

相談は1回で終了する場合がありますが、継続的に相談に乗っていくことが必要な人もいます。花粉症は、症状がない時期もあり、相談間隔が開くこともあります。しかし、症状発現時期に継続的にかかわることでお互いの理解が深まり、相談者にとって、信頼できる機関として認識してもらうこともできます。

(2) 保健指導のポイント

花粉症についての基本的知識（予防、症状について）を誰でも（花粉症がある人もない人も）知り、対応できるよう啓発活動を発展させていくことは重要です。

○花粉症がある人へ

- ①花粉症状を強くしないよう、花粉をからだや家の中に入れないようにしましょう。
- ②医療機関への受診状況を把握し、適切な受診を勧めたり、その後のフォローアップを行きましょう。
- ③花粉情報に注意し、飛散の多い日の外出や洗濯物を外に干したりすることはさけるように指導しましょう。
- ④花粉のばく露からの予防用具（メガネ・マスク・帽子）などを効果的に使えるように指導しましょう。
- ⑤できれば相談機関で花粉症の患者さんのネットワークをつくり、情報の共有や講演会や研修会を企画していきましょう。
- ⑥花粉症関連のホームページなどを利用し、保健指導の充実を図りましょう。
- ⑦規則正しい生活、バランスの良い食事を心がけるよう指導しましょう。
- ⑧妊娠中・授乳中の方は、服薬について医療機関に相談するよう指導しましょう。
- ⑨花粉症の薬の中には服用中に、眠気や集中力・判断力の低下を感じるものもあります。車を運転する機会の多い方や受験生の方は服用する薬について医療機関に相談するよう指導しましょう。

○花粉症がない人へ

- 花粉症でない人も、花粉が体内へはいると何らかのきっかけで花粉症になる可能性があります。
- ①花粉をからだや家の中に入れない工夫をしましょう。
 - ②外に出かける時は、マスクやメガネ、帽子などで花粉がからだの中に入るのを防ぎましょう。
 - ③外から家に戻ってきた時は、花粉を外でしっかり払ってから家の中に入り、うがい、手洗いや洗顔をしましょう。

3. もっと知るために

表 4-1 花粉症に関するホームページ

(2013年12月現在)

| リンク集 | |
|--------------------------------|---|
| 環境省「花粉情報サイト」 | http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/ |
| 厚生労働省「花粉症特集」 | http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/kenkou/ryumachi/kafun.html |
| 独立行政法人理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター | http://www.rcai.riken.go.jp/ |
| NPO花粉情報協会 | http://pollen-net.com/ |

| 自治体花粉情報サイト（URL）一覧 | |
|-------------------|---|
| 北海道 | http://www.iph.pref.hokkaido.jp/ |
| 宮城県 | http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kensui/kafunyou.html |
| 山形県 | http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/topics/kafun/kafun.html |
| 福島県 | http://www.pref.fukushima.jp/kenko/24kafunyobo/24kafuntop.html |
| 茨城県 | http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/yobo/kafun/kafun-joho_top.htm |
| 埼玉県 | http://www.pref.saitama.lg.jp/page/pollinosis.html |
| 千葉県 | http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/alle-nan/allergy/kafun-bien/index.html |
| 東京都 | http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj_kankyo/ |
| 神奈川県 | http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f848/ |
| 石川県 | http://www.pref.ishikawa.lg.jp/ringyo/ |
| 福井県 | http://web.erc.pref.fukui.jp/center/kafunsystem/top |
| 山梨県 | http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/48008958100.html |
| 長野県 | http://www.pref.nagano.lg.jp/kenko-choju/kenko/kenko/kenko/kafunsho.html |
| 岐阜県 | http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/sonota/kafun.html |
| 静岡県 | http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-730/kahun/kafun.html |
| 愛知県 | http://www.pref.aichi.jp/eisei/kafun/index.html |
| 三重県 | http://www.pref.mie.lg.jp/KENKOT/HP/hpm21/kafun.htm |
| 大阪府 | http://www.pref.osaka.jp/kenkozukuri/kafun/index.html |
| 兵庫県 | http://www.hyogo-iphes.jp/kenkou/pollen/pollen.htm |
| 鳥取県 | http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=11188 |
| 島根県 | http://www.pref.shimane.lg.jp/environment/kankyo/kankyo/taiki/kafun_info.html |
| 広島県 | http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/57/1168564565011.html |
| 山口県 | http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15200/kafunshou/kafunshou.html |
| 高知県 | http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/132101/kafun.html |
| 熊本県 | http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/31/kafun.html |
| 大分県 | http://www.pref.oita.jp/soshiki/12200/zousinnkahunn.html |
| 宮崎県 | http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/fukushi/kenko/kafunsho/index.html |
| 鹿児島県 | http://www.pref.kagoshima.jp/ae06/kenko-fukushi/kenko-iryu/nanbyo/kafunsho.html |
| 川崎市 | http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/22-7-0-0-0-0-0-0-0.html |
| 浜松市 | http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/sangyo/shinko/norinsuisan/index.html |
| 京都市 | http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000006868.html |
| 大阪市 | http://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000199464.html |
| 神戸市 | http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/promotion/allergy/index.html |
| 堺市 | http://www.city.sakai.lg.jp/kenko/iryokusuri/iryu/oshirase/kafunsho.html |
| 相模原市 | http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/etc_jyoho/001342.html |

4. 参考文献など

○花粉症に関する参考図書

<一般向け>

1. 鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会：鼻アレルギー診療ガイド2013年版，ライフ・サイエンス，2013.
2. 大久保公裕：やさしいアレルギー性鼻炎の自己管理，医薬ジャーナル社，2013.
3. 大久保公裕：あなたの知らない花粉症の治し方，暮らしの生活社，2009.
4. 大久保公裕：花粉症がいますぐラクになる本 これ一冊でOK！ 最新薬より体質改善まで完全ガイド，ぶんか社，2013.
5. 大久保公裕：ササッとわかる最新「花粉症」治療法，講談社，2008.
6. 大塚博邦：専門のお医者さんが語るQ & A花粉症，保健同人社，2007.
7. 順天堂大学医学部編：順天堂のやさしい医学5，花粉症一対策と治療法，学生社，2005.
8. 今井透：名医のわかりやすい花粉症アレルギー性鼻炎，同文書院，2005.
9. 石井正則：鼻の病気はこれで治せる 鼻づまりや花粉症の悩みもスーッと解消！（増補改訂版），二見書房，2012.
10. 橋本 浩，板谷隆義：花粉症 治療とセルフケアQ & A，ミネルヴァ書房，2004.
11. 斎藤洋三：新編 花粉症の最新治療，主婦と生活社，2003.
12. 久松建一，牧野荘平：花粉症 ここまで分かった！ここまで治る！！，北隆館，2003.
13. 佐橋紀男，花粉情報協会：ここまで進んだ花粉症治療法，岩波アクティブ新書，2002.
14. 馬場廣太郎，内尾英一編：アレルギー性鼻炎・アレルギー性結膜疾患の診断とマネジメント，医薬ジャーナル社，2002.
15. 大野重昭編：優しいアレルギー性結膜疾患の自己管理，医薬ジャーナル社，2002.
16. 斎藤洋三，佐橋紀男：花粉症，少年写真新聞社，2000.
17. 奥田 稔：やさしい花粉症の自己管理－恐れず侮らず－，医薬ジャーナル社，2000.
18. 小笠原寛：花粉症に効く本 正しい知識で予防と治療，神戸新聞総合出版センター，1998.
19. 山本昌彦，佐橋紀男：花粉症 こうして治す こうして防ぐ，講談社，1997.

＜専門家向け＞

1. 鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会：鼻アレルギー診療ガイドラインー通年性鼻炎と花粉症ー 2013年版（改訂第7版），ライフ・サイエンス，2013.
2. 岡本美孝編：小児の花粉症 MB ENTONI149. 全日本病院出版会，2013.
3. 大久保公裕，後藤稔：プライマリケアのための花粉症診療. 医薬ジャーナル社，2010.
4. 石井保之：花粉症のワクチンをつくる！. 岩波書店，2010.
5. 日本花粉学会編：花粉学事典 新装版，朝倉書店，2008.
6. 斎藤博久編：花粉症と周辺アレルギー疾患（小児アレルギーシリーズ2）. 診断と治療社，2007.
7. 斎藤洋三，井手 武，村山貢司：新版 花粉症の科学，科学同人，2006.
8. 平 英彰：ブックレット新潟大学 37 日本人はスギ花粉症を克服できるか，新潟日報事業社，2005.
9. 今野昭義，岡本美孝，大久保公裕：アレルギー疾患指導用テキスト アレルギー性鼻炎 花粉症，新企画出版社，2005.
10. 西間三馨，森川昭廣編：小児科シリーズ III 小児のアレルギー性鼻炎，現代医療社，2003.
11. 今野昭義編：新しい診断と治療のABC アレルギー性鼻炎，最新医学社，2003.
12. 洲崎春海編：ファーマナビゲーターアレルギーシリーズ アレルギー性鼻炎編，メディアカルレビュー社，2003.
13. 三好教夫他：岡山文庫 222 岡山の花粉症，日本文教出版，2003.
14. 稲村達也，中川重年：現代日本生物誌 7 イネとスギ 国土の自然をつくりかえた植物，岩波書店，2001.
15. 榎本雅夫，福井次矢，藤村 聡編：花粉症診療の質を高める 内科医への20の診療ナビゲーション，医学書院，2000.
16. 佐橋紀男，高橋裕一，村山貢司：スギ花粉のすべて，メディカル・ジャーナル社，1995.
17. 兜 真徳，鈴木継美編：花粉アレルギーと大気汚染，篠原出版，1995.
18. 井上 栄：文明とアレルギー病ー杉花粉症と日本人，講談社，1992.

5. 各年のスギ・ヒノキ花粉総飛散数

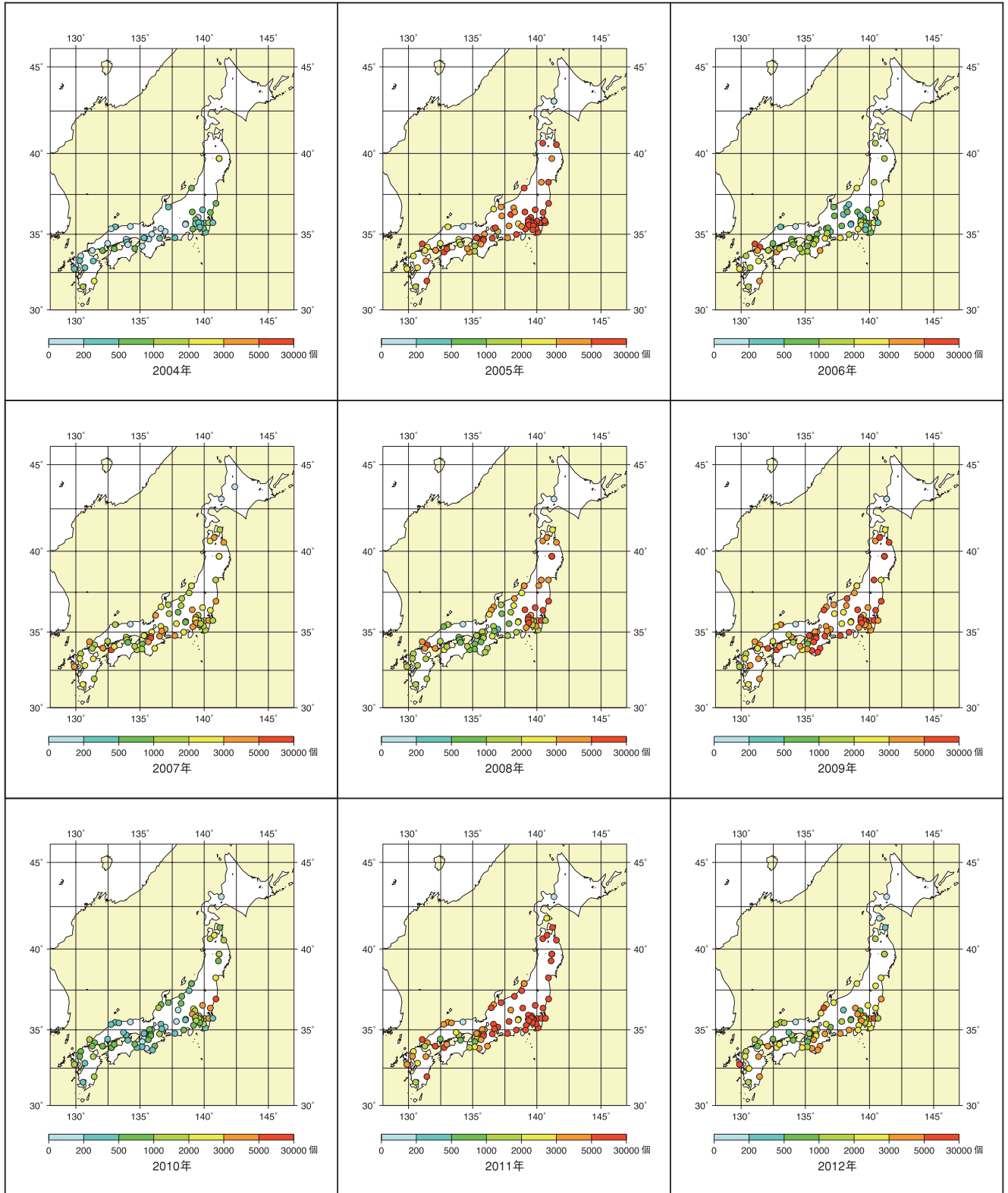


図 4-1 各年のスギ花粉総飛散数マップ（2004年～2012年）

提供：NPO花粉情報協会

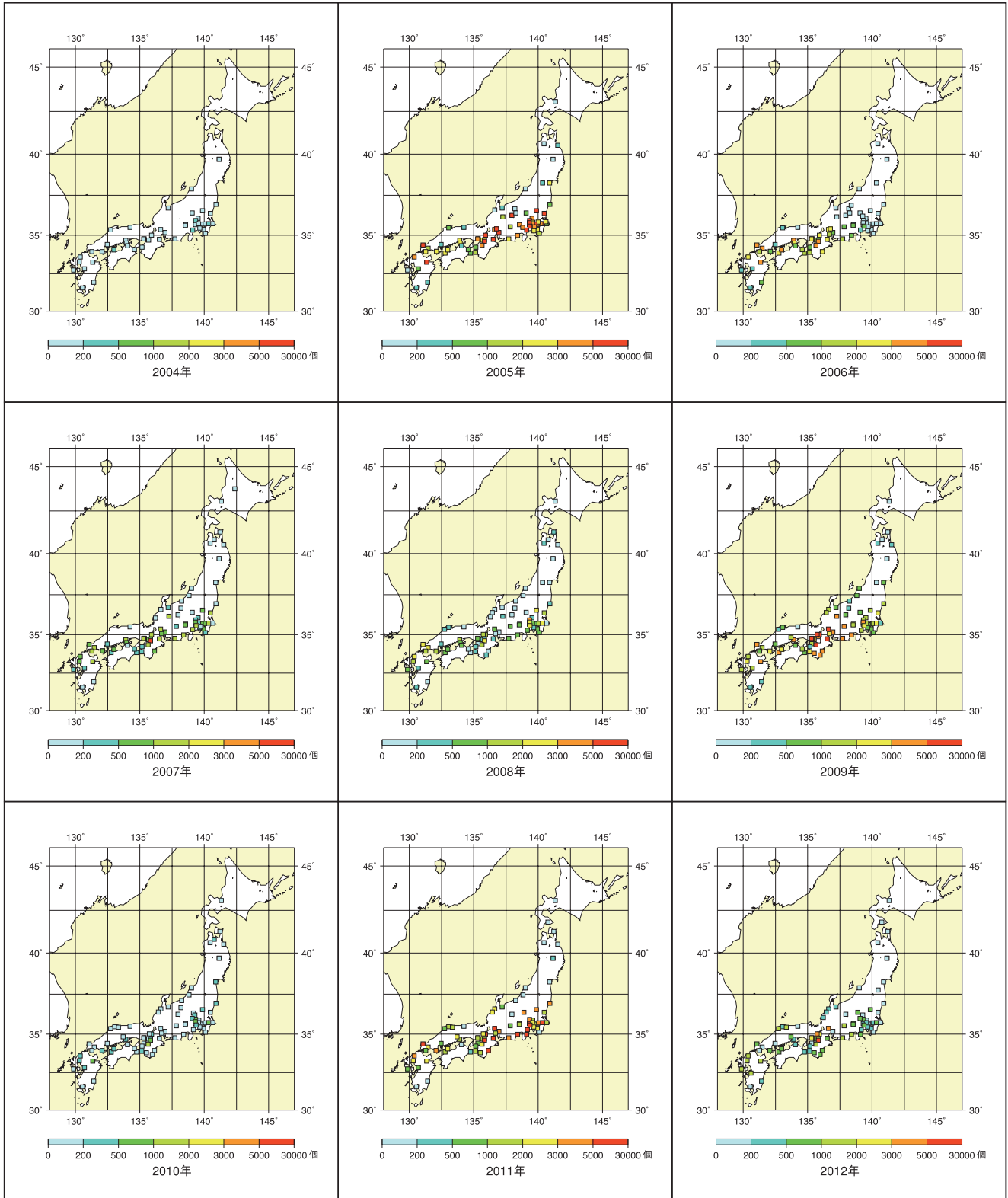


図4-2 各年のヒノキ花粉総飛散数マップ（2004年～2012年）

提供：NPO花粉情報協会